

南ア治安情報(西ケープ州以外)

【2022年7月～9月】

在南アフリカ共和国日本大使館

南アでは、犯罪者が銃やナイフを持っていることがあるため

万が一被害に遭いそうになった場合

抵抗はせず、命を最優先に守る行動をお願いします

以下、頻度の高い犯罪類型とその対策、最近の事案・傾向です。

1 ひったくり被害(スマートフォンを標的)

7月23日(土)午後10時00分ころ、邦人が、ヨハネスブルグ・イロボ地区にて帰宅するためUberを依頼し、車が到着した様であったので店から路上に出て探したものの、該当する車が中々見つからなかったため、スマートフォンを取り出し車の位置を確認しようとしたところ、見知らぬ男性に所持していたスマートフォンをひったくられる盗難被害に遭いました。犯人は、付近で後部ドアを開放して低速走行する車に飛び乗り逃走したとのことです。

【対策】

- 公共の場所でスマートフォンを手に持って移動する、Uberなどの到着状況を確認するなど周囲に見える形で携行しない。
- 飲食店などで、テーブルの上にスマートフォンを置かない。
- オープンテラス席、道路に面した店が特に狙われている点に留意し、店や席を選定する。
- 公共の場所で通話が必要な場合は、その場に応じて狙われにくい適切な場所に移動し、周囲の状況に警戒しつつ利用する。
- Uberが到着した際、自分が予約したUberであると主張する人物が現れ、アプリで予約内容を確認するよう仕向けスマートフォンをひったくる手口がある事を念頭に、Uber到着時に見知らぬ人物に話しかけられた時は、スマートフォンを取り出さないなど所持品の保管に気をつける。

→万が一、スマートフォンを奪われそうになった場合は、絶対に抵抗しない。スマートフォンを盗まれた場合は、遠隔で初期化するなど悪用されないように予め設定する。

2 武装強盗(カージャック、追尾強盗)

武装強盗のなかでも、カージャックが増加傾向にあります。特にハウテン州は全体の53.1%(南ア犯罪統計2022年第1四半期:4月~6月)の被害を占めています。

当地セキュリティ専門家によりますと、各地カージャックのホットスポットは無数にあるものの、分類として

- 1 Drive way (一般車道から各家の車庫/敷地に通じる施設道)
- 2 信号
- 3 ショッピングセンター
- 4 ガソリンスタンド
- 5 一時停止標識
- 6 学校

の順に発生が多いとのこと。同専門家の講演等を参考に「カージャック発生多発場所と対策」をとりまとめましたので(次の頁)、安全対策としてお役立てください。

空港からの追尾強盗

当地において、空港からの追尾強盗はORタンボ国際空港からが圧倒的に多く、被害に遭われた方のほとんどがターミナルA(国際線)利用者と言われています。

【対策例】

国際線利用の場合、一旦、ターミナルB(国内線)まで移動し、ターミナルBの出口を利用(迎えもターミナルB)する。

追尾強盗とは

空港、銀行、買い物先などから出発する際に狙いを定め、被害者の車が自宅等に到着するまで車で追尾し、自宅前等で車両用ゲートが開くのを待つ数秒間の停車時に襲撃。被害者の後方を車で塞ぎ、身動きできない状態に陥らせ、銃等で脅してスマートフォン等の貴重品を強奪、車そのものを強奪(カージャック)する手口。その後拉致(ATMに連れて行かれ現金の現金を強要される、金品を奪われる、暴行を受ける、見知らぬ土地に放置される)等に発展する場合がある。犯人は銃等で武装している。

カージャック発生多発場所と対策

- ①Drive way**：自宅、ゲストハウス等ゲートが開くのを待っている間に襲撃
→帰宅5分前からは最大に警戒（特に追尾されていないか）。
→自宅ゲートをリモコンキー等にて操作する場合、ゲート（道路）に並行に停車して開放操作（退路を確保、追尾の可能性の場合はそのまま前進）、ゲートが開放されれば直ちに敷地内に進入、後続が入れない位置で停車して直ちにゲートを閉鎖（自動閉鎖機能は利用しない）。
→生体認証によりゲートに並行に停車して操作できない場合、ゲート直近で並行に停車し、後方の様子を確認する。同様に停車する車があれば追尾の可能性。
→追尾の可能性がある場合は、自宅に帰らず一旦通過。冷静にいつも通りの運転でガソリンスタンド、商業施設等安全が確保できる場所まで一旦避難。警察等に通報し応援を求める。
- ②信号**：信号待中に襲撃（信号待ち中は、スマッシュアンドグラブ等他の犯罪も発生しやすい）
→停車中は周囲に特に警戒。スマホを触る等注意散漫にならない。
→賊は後方から突然現れる事が多いため、バックミラー、サイドミラーなどで後方を特に警戒。
→前の車と車間距離を空けて停車。
→襲撃ポイントに至るまでに、既に仲間が標的を選定している可能性大。運転中も警戒を怠らない。
- ③ショッピングセンター**：車からの乗降時に襲撃。駐車場入り口のゲート（駐車券発券時等）で停車した際、後続車が追突し（事故を装う）確認しに降りてきたところを襲撃
→車の乗降時は特に周辺に不審者（車）がいないか警戒する。
→乗車後はただちにドアロックを手動でかける。乗車後すぐは自動でロックがかからない。外からドアをあけ、後部座席に乗り込み襲撃する等を防止。
→駐車場入り口等で停止時に後続に追突された場合（特に軽い追突）は、降車せず、ドアをロック、窓を閉め、ミラー等で様子を確認し、本当の事故か判断。
- ④ガソリンスタンド**：給油待ち等に襲撃
→給油を依頼すれば、車を施錠しガソリンスタンドのコンビニへ移動して待機、給油後の支払いをコンビニのカウンターで行う事で車内待機時間を減らす。
→できるだけ子供を連れてくる時に給油しない（子供が巻き込まれるのを回避）。
- ⑤一時停止標識**：標識で一時停止した際、前の車（犯人）と後続の車（犯人）に挟まれ身動きできない間に襲撃。一時停止した際、後続車が追突し（事故を装う）確認しに降りてきたところを襲撃
→前の車との車間距離を空けて停車。
→追突された場合（特に軽い追突）は、降車せず、ドアをロック、窓を閉め、ミラー等で様子を確認し、本当の事故か判断。
- ⑥学校**：子供を迎えに行き、駐車場等で待機している際に襲撃
→車内でスマホを触る等して待機せず、車外に出て（車はロック）待機。

3 クルーガー国立公園

クルーガー国立公園は人気の観光地ですが、10月(次回にも掲載予定)には、同公園 Numbi Gate 付近で外国人観光客が武装強盗未遂事件の末銃撃され、命を奪われる事件が発生しました。クルーガー国立公園付近の Hazyview およびその周辺の町において治安の悪化が見られるため、同公園に向かわれる際はこの周辺を通行するゲート(Numbi、Paul Kruger、Phabini)は避け、他のゲートから入られるようお願いいたします。

また、クルーガー国立公園内(周辺)のプライベート・ゲーム保護区へ向かわれる際も同様にご注意ください。プライベート・ゲーム保護区内へ至るゲートは同公園のゲートとは異なり分かりにくい場合があります。宿泊先にゲート名や経路を確認し、ナビの案内のみに頼らないでください。

4 侵入強盗

9月28日夜から翌29日朝にかけて、ヨハネスブルグ・ブライアンストン地区の邦人宅(コンプレックス)に何者が侵入し、室内に置いていたパソコンなどが盗まれる被害に遭いました。賊は、屋根伝いに邦人宅バルコニー(2階)に侵入し、無施錠のドアから室内に入って犯行に及んだと思われます。邦人は就寝中でしたが、賊に遭遇せず無事でした。同じコンプレックス内において複数件同様の被害があった模様です。

【対策】

- 在宅時も侵入可能な窓やドアは施錠し、鉄格子(バーグラバー)などの防犯設備を確実に活用する。就寝時は、窓やドアが施錠されているか点検し、警報装置をセットする。
- 窓を開放する際は、鉄格子の施された窓を利用する。
- 賊は犯行下見を入念に行う場合が多いため、平素から自宅周辺の様子に注意し、不審人物(車)に気がついた場合は警察や契約警備会社に通報する。
- 使用人など内部の手引きによる犯行もあるため、貴重品を自宅内に放置したり、行動や生活パターンを不用意に知られないよう留意する。
- 万一、侵入被害に遭い賊と遭遇する事態となった場合、抵抗や反撃はせず、身の安全が確保できる部屋に逃げ込んでドアなどを施錠し、警察、警備会社などに通報する。

5 抗議行動

燃料費等生活費の高騰などの理由から、各地で大小様々な抗議行動が多発しました。8月24日には、National Shutdown との名目で全国的に主要都市において抗議行動が行われました。

7月6日以降、ムプマランガ州 Mbombela(旧ネルスプロイト)周辺の町において、散発的に道路封鎖等の抗議行動が行われ、クルーガー国立公園へ向かう道 (Paul Kruger Gate 方面)も一時封鎖されました。

今後も、各地で各種抗議行動が発生する可能性がありますので、最新の情報を入手し注意してください。平穩に進行している抗議行動であっても、些細な事をきっかけに激化、他の暴力的事象に発展する可能性がありますので、抗議行動が行われている場所には近づかないなど注意してください。

6 自動車盗

自動車盗の被害が増加傾向にあります。特に標的となっているのは、トヨタ社ハイラックス、ランドクルーザー、プラド、フォーチュナー、フォード社レンジローバー等の Bakkie(ピックアップトラック)タイプ、ハイパワーの頑強な車です。その一方で、コンパクトカー、ファミリーカーの被害がないわけではありません。目的は、現金輸送強盗等その他の犯罪の犯行時に利用する、車そのものを転売、車の部品取り等賊の目的は様々です。どんなタイプの車でも標的になっている事を念頭に防犯対策をお願いします。

【対策例】

① 駐車場所の選定

路上駐車中に被害に遭うケースが多いので、警備員が配備された駐車場、アクセスコントロールがされた駐車場などを選定してください。

② リレーアタック対策(スマートキーの車)

- ・電波遮断ケースに入れる
- ・電波をオフや節電モードにする

→ディーラーによる設定、ご自身でできる場合等車種によって異なる場合がありますので、ディーラーにご相談されることをおすすめします

リレーアタックの手法概要

- ・ 犯人グループの1人がスマートキーを持った人に近づく
- ・ スマートキーの電波を特殊な装置で受信
- ・ 受信した電波を仲間に送信
- ・ 電波を受信した装置を持って車に近づき、車のロック解除、エンジン始動

※キーの所有者に近づいて電波を拾い、車の横の仲間までリレーする様に送信。正規のキーが近くにあるよう車に誤信させロック解除やエンジン始動を行う

※被害者は、車から離れているので犯行に気がつかない（ことがほとんど）

※その他、特殊な装置を用いてドアや窓を破壊することなくロックを解錠、エンジンを始動する手口も横行しております。車種に応じて対策が可能な場合がありますので、ディーラーに相談されることをおすすめします。

※特に、電話で会話しながら近寄ってくる人物、電話を手にして周辺をうろろしている人物には要注意です（他の犯罪、例えばスマホのひったくり等でも同様）。相手が電話をかけている（ふり）というだけで、驚くほどこちらの警戒心が薄まります。また、共犯者と情報交換しながら犯行のタイミングを指示している可能性があります。この様な人物が近寄ってきた場合、離れてください。